

白井市民の間に、 正確でない情報が 流布されて います。

北総線の運賃値下げを実現する会
(北実会) 元会長 吉田 治男



昨年の、スカイアクセス開業時の運賃値下げを「たった5%」という表現は正確さを欠きます。「通学定期の25%値下げ」がより正確です。

沿線市、県ならびに鉄道事業者との「合意」により、現在、通学定期券の25%値下げが実現しております。

白井市だけが「合意」から離脱することは、この「合意」そのものの破棄につながり、合意の破棄は、現在実現している通学定期25%値下げの破棄となり、元の値段に戻る可能性が極めて高いことになります。

なぜならば、この「合意」は、国交省が認可した運賃を下回る額として届出により実施されており、合意が破棄されれ

ば、認可された運賃に戻す(25%値上げ)のは届出だけで可能だからです。

沿線その他市や県、鉄道事業者との「合意」を破棄することだけは避けなければなりません。市として守らなければならない「信頼性」がかかっているのです。信頼があつてこそ、これからの更なる値下げの交渉や、白井駅へのアクセス特急停車など、利便性向上の折衝がスタートできるのです。

北実会は印西市、白井市の協力のもとで、10万人以上の署名を達成しました。今では行政を批判するばかりの会になり、信頼性のない値下げ運動になってしまっており、たいへん残念なことになっています。

白井市発のコメ粉麺で、農業の活性化を アレルギーのお子さんに朗報！

白井市南山在住で、「全国地域づくり工房」の代表者、地域活性化の仕掛け人である奥崎喜久さんは、白井市発の「コメ粉麺」というアイデアを提案しています。実現すれば、コメ農家救済のため、千葉県では初めての試みになります。

奥崎さんは、私の長年の友人であり、喜多方ラーメンや宇都宮餃子などの最初の仕掛け人でもあります。

コメ粉麺のサンプルは出来上がっており、すでに白井駅前のモリタ米店さんやヤオパークさんなどで販売されているそうです。サンプルは、「白米麺」のほか「発芽玄米」「トマト麺」「ほうれん草麺」があり、現在は、「梨麺」も試作中とのこと。

コメ粉麺はどれもとてもコシがあり美味。小麦粉を使用していないため、アレルギーのお子さんをもつ親御さんからは絶大な信頼を寄せられています。米所の山形県では学校給食にも採用されています。

奥崎さんは、白井市のおコメと梨で、千葉県で最初に、白井市発のコメ粉麺を発売し、農家の活性化から白井市を元気にしたいと訴えておられます。私も「白井市を喜多方ラーメン街のように」と夢想しています。



横山くがこ後援会 会長

吉田 治男

名誉毀損で告発を予定

横山くがこ後援会が過去に、産廃業を営む人から寄付を受けたことを、違法と見なしたり、問題視する発言が繰り返されています。横山くがこは、10年ほど前に「柴田圭子議員」に誘われて、この寄進者の最新の工場を見学に行き、以来、この寄進者については、見識の高い人物であると評していました。寄付の受託については、柴田圭子氏とも相談し、寄付の趣旨や市との請負関係に問題がないことを確認して決定しました。収支報告にも嘘偽りなく記載しています。